

からすと水さし

からすと水さし (イソップのお話)

のどがかわいたからすが、水をさがして空をとんでいました。

やっと、にわに水さしを見つけました。ところが、水は下のほうに少ししか入っていません。くちばしを入れても、とどきませんでした。

からすは、しばらく考えました。そして、小石を一つずつ口にくわえて、水さしの中に入れていきました。

小石が入るたびに、水は少しずつ上がってきます。とうとう、水は口のところまで上がってきました。

からすは、ようやく水をのむことができました。

1 からすがにわで見つけたものは、何ですか。

2 からすが水をのめなかったのは、どうしてですか。

ア 水がにごっていたから。

イ 水が下のほうに少ししかなかったから。

ウ 水さしがたおれていたから。

3 からすは、水さしの中に何を入れましたか。

4 お話のじゅんになるように、□に1・2・3を書きましょう。

小石を入れた。

水さしを見つけた。

水をのんだ。